

大規模災害時における災害実動機関横断の情報通信システム X-ICS※（クロスイクス）

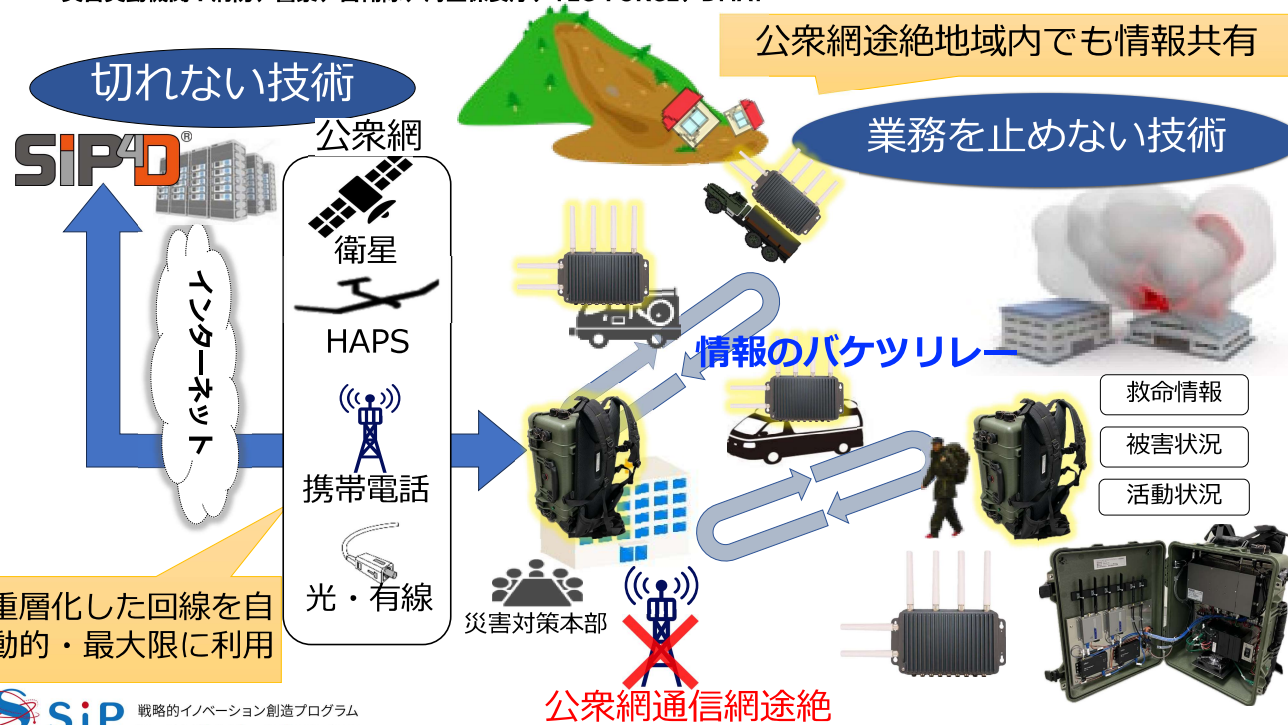
※ Cross-Agency Information and Communication System



概要

大規模な災害等の発生によってインターネットへの接続ができなくなった地域も含め、被災現場で活動する災害実動機関※※同士の情報共有を可能とする機関横断情報通信システム：X-ICS（クロスイクス）の研究開発を行っています。

※※ 災害実動機関：消防、警察、自衛隊、海上保安庁、TEC-FORCE、DMAT



特徴

- ・可搬型装置内に搭載する重層化した通信回線を束ねて容量を最大化し通信を継続する技術（切れない技術）
- ・装置内に情報処理機能を搭載し、装置間で情報をバケツリレーして共有でき、装置単体でもシステムを利用継続可能とする技術（業務を止めない技術）

ユースケース

- ・大規模災害時（公衆通信途絶も想定）における災害実動機関間の情報共有、現場における迅速な意思決定支援

今後の展開

- ・各要素技術の統合とシステム化および検証
- ・実動機関における標準システムとしての実証
- ・実動機関の導入支援（社会実装）

【お問合せ先】

ネットワーク研究所 レジリエントICT研究センター サステナブルICTシステム研究室

Mail : sis_contact@ml.nict.go.jp

NICT オープンハウス 2025

Copyright © 2025 NICT All Rights Reserved.

SIP 戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

本研究の一部は、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期「スマート防災ネットワークの構築」(研究推進法人:国立研究開発法人 防災科学技術研究所)サブ課題C「災害実動機関における組織横断の情報共有・活用」によって実施されました。